



報道関係各位

開業5周年！高さ634mに新たな発想を！


東京スカイツリー®の新たな利活用を考えるアイデアソン 「スカイシェア未来会議」開催！

日時:2017年6月17日(土)10:00~18:00

東武タワースカイツリー株式会社

東武タワースカイツリー（本社：東京都墨田区）にて運営を行っている東京スカイツリーは、開業5周年を記念して、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科（略称：慶應SDM）こうたけなおひこ神武直彦研究室と共催で2017年6月17日（土）に**東京スカイツリーの新たな利活用を考えるアイデアソン「スカイシェア未来会議」を開催**いたします。

東京スカイツリーは展望台だけでなく、電波塔として地上デジタル放送などの送信をはじめとする重要な役割を果たしているほか、既存の電波塔としての利用の枠に収まらない雷や大気など様々な環境観測・研究等にも利活用されています。

東京スカイツリーでは開業より5周年を迎えるにあたり、こうした既存の電波塔の枠に収まらない東京スカイツリーならではの新たな利活用の方法について、グループ単位で自由にアイデアを出して磨き合う、アイデアソンを開催し、今後の東京スカイツリーの利活用のさらなる可能性を探ってまいりたいと考えております。

「スカイシェア未来会議」には、当社スタッフが参加するほか、5月11日（木）～21日（日）の期間に参加者を公募し、計50名程度の方にご参加いただく予定です。

なお、新たな利活用について斬新で優れたアイデアに対しては、表彰を行うとともに、副賞を用意いたします。

詳細は別紙をご覧ください。



▲アイデアソンの様子（イメージ）

画像提供:慶應SDM 神武直彦研究室

以上



～シタマチ・ワンダーランド計画～

世界一のタワーのあるこの街は、粋な楽しさ、あったかい人情、ものづくりの伝統が息づいている街。私たちはそのすべてを、新しいシタマチの楽しさに変えて届けたい。訪れるすべての人のワンダーランドになるために。5周年を迎えた東京スカイツリータウンの挑戦が始まります。

「スカイシェア未来会議」について

1. 「スカイシェア未来会議」概要

東京スカイツリー®が開業より5周年を迎えるにあたり、地上デジタル放送の送信など既存の電波塔としての利用の枠に収まらない東京スカイツリーの新たな利活用の方法について、アイデアソンの手法を用いて考えるイベントとして、「スカイシェア未来会議」を開催します。

※アイデアソンについて

特定のテーマについてグループ単位でアイデアを出し合い、まとめていく形式のイベント。アイデアとマラソンを合わせた造語。

日時: 2017年6月17日(土) 10:00～18:00

場所: 東京スカイツリーイーストタワー®11階 会議室

共催: 東武タワースカイツリー株式会社

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科(略称:慶應SDM) こうたけなおひこ 神武直彦研究室

事務局: 一般社団法人 Think the Earth

参加者: 公募によりお集まりいただいた方、東京スカイツリースタッフ等 50名程度

テーマ: 地上デジタル放送の送信など既存の電波塔としての枠に収まらない、新たな視点からの東京スカイツリーの利活用のアイデアを考える。

■慶應SDM 神武直彦研究室について

地域から地球規模までの多様な課題を対象に、システム思考とデザイン思考に基づいた解決策を提示し、イノベーション創出を行うことを目指した研究教育を行っています。その中で様々な自治体や企業と連携し、データを活用した課題発見から解決までのプロセス構築や手法の研究開発も推進しています。

2. 当日の流れについて

- ①参加者は、6～7名ごとのグループに分かれます。
- ②ブレインストーミング等の会議室でのグループワークに加え、より発想を膨らませられるよう東京スカイツリーの見学を予定しています。
- ③グループごとに東京スカイツリーの新たな利活用のアイデアをまとめ、発表していただきます。
- ④実現可能性や夢のあるアイデアであるかといった点を総合的に審査し、斬新で優秀なアイデアを発表されたグループに対しては、表彰を行うとともに、東京スカイツリーのオフィシャルグッズ、チケットなどの副賞を授与します。

<審査員>

慶應SDM 神武直彦 准教授

慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所 いのうえじゅん 井上淳 准教授

国立研究開発法人情報通信研究機構 経営企画部 しまだじゅんいち 島田淳一 統括

東武タワースカイツリー株式会社 さけみしげのり 酒見重範 取締役社長

- ⑤「スカイシェア未来会議」にて発案されたアイデアにつきましては、東京スカイツリー公式ホームページにおいて公表するほか、今後の東京スカイツリー賃貸事業の参考として活用します。

3. 参加者の公募について

参加者の公募については下記WEB応募フォームより募集いたします。参加が決定した方には、事務局よりご連絡いたします。なお、ご応募頂いた際の個人情報は「スカイシェア未来会議」の事務局を担当する一般社団法人Think the Earthが適正に管理いたします。

■応募フォーム

<http://www.thinktheearth.net/jp/info/2017/05/20170617.html>